

がん化学療法処方

プロトコール名: B細胞リンパ腫 再発難治 R2(リツキシマブ+レナリドミド)療法 C1(1クール28日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② リツキシマブ点滴静注 375mg/m ² + 生理食塩液 点滴開始30分前にカロナール錠200mg 2錠、レスタミンコーワ錠10mg5錠内服 最終濃度1mg/mLになるように調製 <初回投与> 投与速度50mL/hで開始し、毒性が認められなければ、 30分毎に50mL/hずつ増量(最大400mL/h) <2回目以降> 投与速度100mL/hで開始し、毒性が認められなければ、 30分毎に100mL/hずつ増量(最大400mL/h)	div	**
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d8,15,22	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② リツキシマブ点滴静注 375mg/m ² + 生理食塩液 点滴開始30分前にカロナール錠200mg 2錠、レスタミンコーワ錠10mg5錠内服 <初回投与> 最終濃度1mg/mLになるように調製 投与速度50mL/hで開始し、毒性が認められなければ、 30分毎に50mL/hずつ増量(最大400mL/h) <2回目以降> 最終濃度1mg/mLになるように調製 投与速度100mL/hで開始し、毒性が認められなければ、 30分毎に100mL/hずつ増量(最大400mL/h) <2回目以降で臨床的に重篤な心疾患がなく、 初回投与時に発現した副作用が軽微であり、 かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/ μ L未満の場合> 総液量250mLになるように調製 希釈濃度は1~4mg/mL 投与速度100mL/hで開始し、30分後に200mL/hに増量。	div	**
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1-21	レブラミド20mg	p.o.	眠前または夕 食後2時間
d1,8,15,22	カロナール錠200mg 2錠 レスタミンコーワ錠10mg5錠 リツキシマブ投与30分前に内服	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

d1-21 レブラミド20mg/d p.o.
リツキシマブ開始30分前にカロナール400mgとレスタミン50mg内服。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)